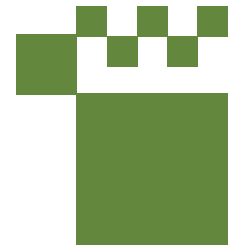


第3章

計画の将来目標



第3章 計画の将来目標

本区では、寛永寺や浅草寺をはじめとする寺社や江戸時代から続く地先園芸などの花とみどりが、台東区ならではの個性的な下町の風情とにぎわいを醸し出しています。

また、近年の地球温暖化・ヒートアイランド現象等の環境問題への意識の高まりから、本区においても、その対策として、みどりのカーテン等の身近な緑化による取り組みが行われています。

本計画では、2020年東京大会に向けて、花を慈しむ心、思いやりとおもてなしの心をもって花でまちを飾り、心豊かでうるおいのあるまち台東区を世界にアピールする「花の心プロジェクト」に重点を置き、基本理念、基本方針等は継承します。

1. 基本理念

台東区は、寺社や公園等を中心に花とみどりが豊かな地形を形成してきました。これからも、こうした場所の花とみどりの保全と質の向上を図ります。また、区民・事業者・行政が一丸となって、花とみどりの創出と維持管理を進めます。そして、伝統的な地先園芸をはじめ、屋上緑化・壁面緑化や寺社・公園等のまちを彩る花とみどりがまとまりをなしてつながり、大きな広がりを持った「したまち台東」となることを目指します。

【基本理念】

まちを彩る花とみどりがつながり、
ひろがる したまち台東

2. 基本方針

基本方針では、新たな「花の心プロジェクト」などの推進や花とみどりを取り巻く現況と課題を踏まえるとともに各種計画と整合を図り、本区の花とみどりの特性とそれらの持つ様々な機能を活かすため、より具体的な6つの将来イメージを示します。

【基本方針Ⅰ】

花とみどりを活用した環境都市を目指します

都心部における花とみどりは、ヒートアイランド現象の緩和や緑陰の形成、良好な景観・街並みの形成、省エネルギー効果、大気の浄化や騒音防止等の様々な都市環境の改善に寄与しています。

区有施設や区道、公園等の緑化推進をはじめ、区民や事業者等に花とみどりの積極的活用を働きかけ、地球環境に配慮した都市を目指していきます。

【基本方針Ⅱ】

人・花とみどり・生き物のふれあいを大切にします

区内に点在する寺社林や上野恩賜公園、隅田公園などのまとまりのある花とみどりや街路樹などのつながりのある花とみどりは、都心に棲む生き物の生育・生息場所や移動経路となり、生き物の多様性を支える重要な要素となっています。また、このような花とみどりが身近にあることで、人々が生き物に気軽にふれあい、季節の移り変わりを感じることができます。

このように、人にも生き物にも大切な花とみどりの保全・創出を進めるとともに、様々な活動や、レクリエーションの中でのふれあいを大切にしていきます。

【基本方針Ⅲ】

まちのにぎわいを花とみどりがサポートします

都心部における樹木や草花によって、都会的なまち並みの中に、彩り豊かで個性的な景観を生み出しています。また、町会や商店街、学校のPTAなどの地域ごとに創出・維持管理された地先園芸のような身近な花とみどりを介して、地域活動が活発になり、地域コミュニティが形成されていきます。このような花とみどりを介した地域活動により、地域の花とみどりへの愛着心の向上を図るとともに、歴史や文化に配慮したにぎわいのあるまちづくりをサポートしていきます。

【基本方針Ⅳ】

安全・安心で快適な暮らしに花とみどりが貢献します

適正に維持管理された公園等や街路樹、学校の緑は、震災等の災害が発生した際に避難経路や避難場所となり、被害を軽減することが期待されています。また、公園等の整備や適正な維持管理により、いつでも安心して利用できる環境を整えていくことが重要です。

これらの安全・安心で快適な暮らしに貢献するとともに、防災や防犯、安全な利用等の面に配慮した花と緑の整備を進めていきます。

【基本方針Ⅴ】

花とみどりの名所を守り、育てるとともに、新名所を創出します

本区には、花とみどりの一大拠点である上野恩賜公園や隅田公園、歴史のある寺社があり、国内外から多くの観光客が訪れます。また、江戸時代から続く園芸文化である地先園芸などが残る地域があり、まちのにぎわいを演出しています。

これらの花とみどりを守り育てるとともに、他の公園等や学校の花とみどり、街路樹、地先園芸などの各地域の花とみどりのポテンシャルを把握し、地域の憩いの場となる新たな花とみどりの名所を創出していきます。

【基本方針Ⅵ】

区民・事業者・行政が一丸となって花とみどりのまちづくりを進めます

区民や事業者等による花とみどりの保全や緑化に関する積極的な取り組みを推進するために、行政は、それらの取り組みに対する支援制度の整備や花とみどりの講習会の開催などを進めていきます。

2020年東京大会に向けて、これらの支援制度や講習会を効果的に推進していくとともに、まちづくりにおける緑化や「花の心プロジェクト」の普及啓発を進めていきます。また、区内への更なる花とみどりの普及のために、区民・事業者・行政が連携・協働して取り組む必要があります。そのための仕組みづくりを行うとともに、グリーン・リーダーの育成を通じて、花とみどりのまちづくりを進めていきます。

3. 数値目標

基本理念及び基本方針の実現に向けて、まちなかに花とみどりを増やし、人々の心にやすらぎとうるおいを与えるとともに、都市の環境の改善や良好な景観形成、防災性の向上につなげていきます。そこで、花とみどりの数値目標を以下のように設定します。

なお、目標年次は計画期間の見直しに伴い、平成31年度とします。

【数値目標 1】

緑被率を14.5%まで増やします

【設定の考え方】

緑被率を増やすためには、緑被地である樹木被覆地、草地、屋上緑化地を増やす取り組みを行う必要があります。

公共公益施設では、建物の屋上やオープンスペースの緑化を積極的に推進し、民有地では、建築指導を進めるとともに、緑化制度等を周知し、それらの活用による緑化を働きかけることで、緑被地を増やしていきます。

数値は、目標年次の変更に伴い、修正を行いました。

(平成22年度 緑被率：12.3%)

【数値目標 2】

みどり率※を19.8%まで増やします

【設定の考え方】

みどり率を増やすためには、みどり域※に含まれる緑被地のほかにも公開空地などを増やす取り組みを行う必要があります。

公共公益施設である公園等の整備を進めるとともに、民有地では、総合設計制度の活用や再開発事業等により、オープンスペースの確保を働きかけることで、みどり域を増やしていきます。

数値は、目標年次の変更に伴い、修正を行いました。

(平成22年度 みどり率：19.2%)

※みどり率、みどり域：21ページ参照

【数値目標 3】

【新規】花に対する区民満足度を50%にします

【設定の考え方】

「花の心プロジェクト」の開始に伴い、新たに数値目標を設定しました。

区民が花を身近に感じることができるよう、区内を四季折々の花で彩るため、「花の心プロジェクト」の普及啓発を進めていきます。

【数値目標 4】

みどりに対する区民満足度を50%まで増やします

【設定の考え方】

みどりに対する区民満足度を増やすためには、身近なみどりを確保するための取り組みを進めるとともに、取り組みそのものを区民に実感してもらうため、区民参加の取り組みや、みどりに関する普及啓発を進めていきます。

数値目標は、計画策定時のものを継承します。

(平成22年度 緑に対する区民満足度調査結果：35.9%)

【数値目標 5】

公園等の面積を77ha まで増やします

【設定の考え方】

公園等の面積を増やすためには、用地の確保に努め、各種開発事業との連携などにより、公園等の整備を進めていきます。

数値目標は、計画策定時のものを継承します。